

西ゴート王国の時代

1. ゲルマン民族の到来

○ヴァンダル族、アラン族、スエヴィ族

「ゲルマン民族の移動」

「同盟者」としてのヴァンダル族、アラン族、スエヴィ族

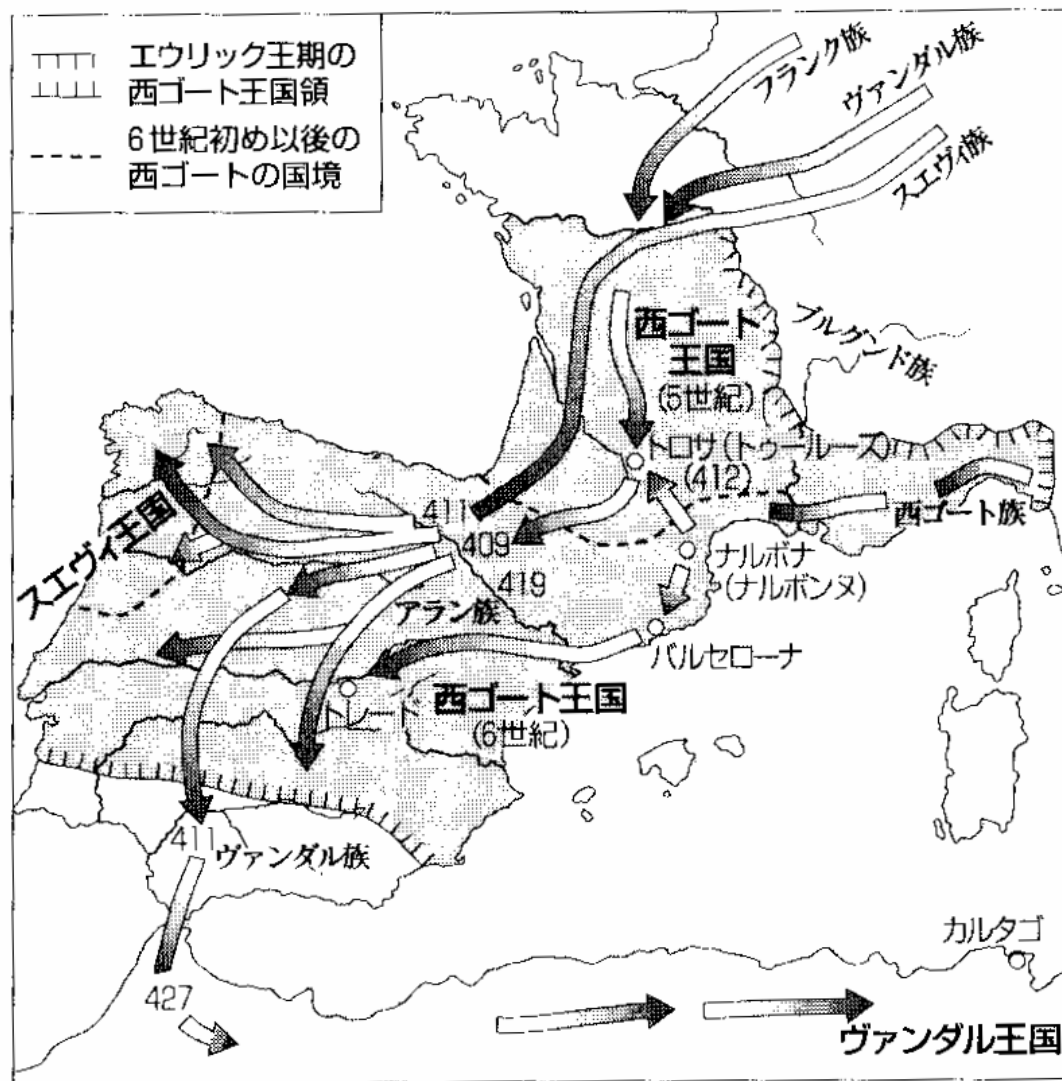
⇒ヴァンダル、「アンダルシーア」

○西ゴート族の到来

トロサ(現トゥールーズ)の建設

ヒスパニアへの進出。フランク王国の圧力。ヴィエの戦い。

トレードを首都とする西ゴート王国(568年)



ゲルマン民族の侵入 5世紀初めの侵入開始から6世紀初めに部族王国の領域がほぼ確定するまで。



2. アリウス派からカトリックへ

○アリウス派王国の時代

- アリウス派王国——選挙王政、圧倒的少数者、「属人法」
- 「ユスティニアヌスの再征服」——ビザンツ帝国による半島南部の支配。

○ヘルメネギルドの反乱とカトリックへの改宗

- ヘルメネギルドの反乱(579～585)
- レカレドのカトリック改宗(587)

3. カトリック王国の時代

○西ゴート統一法典：リベル・ユディキオルム

- ゲルマン法(属人法)。エウリック法典、アラリック法典 /ローマ法
「二重国家」の状態

⇔654年、レケスウイント王のもとで、『裁判法典』 Liber judiciorum (Fuero Juzgo)の発布。

「一つの体、一つの頭、一つの魂」

王国=国王=法典



○トレード公会議(カトリック司教の会議)

- 589年、レカレド王が、第3回トレード公会議を召集。アリウス派の放棄と王国のカトリック改宗を宣言。
- 653年、第8回トレード公会議
——「王国会議」 ≡ 「神権政治(神政政治)」
- ユダヤ教徒迫害
- セビーリャのイシドルス(セビーリャ司教、在位600頃～636)
——「イシドルス・ルネサンス」

○西ゴート王国の滅亡

- 王位継承問題——選挙制
- イスラーム勢力の進出
- ロデリックの敗北(711)